



平成30年6月  
第161号

# かけはし

ケアハウスあじさい園

URL: <http://www.ajisaien.or.jp/>

## 歯周病の予防と治療が必要な理由(わけ)

歯周病というと歯ぐきの病気と思われがちですが、実は全身の健康に深く関わっています。

歯周病の原因菌は歯周病菌で、歯ぐきのすき間からさらに血管に入りこんだ歯周病菌を退治しようと、正義の味方である白血球が助けに来てくれます。そのがんばる白血球を応援するため、仲間の白血球からがんばりを支える物質、炎症性サイトカインという物質が出ます。つまり懸命に働く白血球から「汗(炎症性サイトカイン)」が出ます。残念ながらその汗は、血液の中でインスリンの働きを弱める悪さをします。

さて、インスリンは血液中の余分な糖を身体の細胞にとりこむ働きをします。(細胞にとっての糖は、「ごはん」でありエネルギー源です。)インスリンの働きが弱まり、細胞が糖をとりこまなくなると、血中に糖があふれ余分な糖が尿に出ます。つまり糖尿病です。歯周病があると糖尿病が悪化したり、歯周病治療で糖尿病が改善する理由がここにあります。

閉経後の女性はエストロゲンが減少し、骨粗しょう症になりやすいことは、皆さまご存知のことですが、同時に歯を支える歯の周りの骨である歯槽骨もろくなり、歯周病になりやすくなります。

歯周病菌が血中であふり出す沈着物が血管をつまらせることによりおこる狭心症、心筋梗塞、その沈着物が脳でつまると脳梗塞になることもわかっています。

さらには、メタボリックシンドローム、認知症、うつ、統合失調症との因果関係もあるとのこと。

歯周病は、自覚症状のない場合も多く、要介護、認知症高齢者の方であれば痛みを訴えることもなかなかできません。

歯周病の全身への影響を考え、若いときから歯周病の検診や治療を定期的にされることをおすすめします。



## 6月 行事予定

- 5(火) 指編み教室
- 10(日) いどばた会
- 15(金) 田原小中学校  
文化鑑賞会
- 21(木) 食事会



## 新緑ドライブ 五月九日(水)

午後から山添村、山野山方面へ新緑ドライブに出かけました。つつじはもう見頃時期は過ぎてしまいましたが、山の中に咲く藤の花がきれいで、前日に降った雨で、一層山々の新緑が鮮やかでした。

短時間でしたが、しっかり森林浴を楽しんで頂く事が出来、心身共にリフレッシュして下さいました。



## お誕生日おめでとうございます

- Aさん 昭和 3年生まれ
- Bさん 昭和 9年生まれ